



県内企業トップ 新入社員に訓示 挑戦を重ね成長を

新年度が始まり初めての平日となった2日、県内でも多くの企業が入社式を開いた。「実行、体験をして成長してほしい」「後ろ向き、内向き志向は人を縮ませる」などと各社のトップはチャレンジ精神の大切さを強調。固定概念にとらわれずに成長することへの期待を訓示に込めた。

(カッコ内は採用人数)

未来に向けた
新しい価値を
十六銀行

村瀬幸雄頭取



取り巻く環境は、競争の熾烈(しりつ)なものです。

化や低金利政策による利益の減少などにより厳しさを増している。当行には幾多の困難を乗り越えてきた140年の歴史があり、築いてきた堅固な礎がある。10年先、20年先を見据えた新しい価値を共に創造していく。心掛けてほしいのは、「自分の仕事に誇りを持つこと」「魅力あふれる人になること」「自己研鑽(けんくわん)に取り組むこと」の3点。かけがえのない人材に成長することを期待する。(87人)

あらゆる情報
興味を持って
岐阜信用金庫

住田裕綱理事長



金融のプロ意識、どんな仕事に對しても真摯(しんし)に取り組む、チャレンジしてほしい。

お客さまのニーズを的確に捉え、応えていくためには、幅広い知識とコミュニケーション能力が必要だ。金融に関する情報は多岐にわたる。あらゆる情報に興味を持って、人間性を高めてほしい。皆さん一人一人の成長が、必ずや地元地域の強みとなるはずだ。共に成長していきたい。(90人)

“自ら燃える”
職員目指して
大垣西濃信用金庫

栗田順公理事長



2年前に合併し、全職員の努力で統一、基礎固めを図れた。目指すのは「お客さまの所へ積極的に出向いて、真摯(しんし)に向き合い、夢や悩みを共有し、課題を解決する提案型営業」。

そのような営業ができる職員は他人から火を付けられなくても自ら燃える「自燃性」の人。指示されなければ動かない職員ではなく自ら進んで考え行動する職員を目指してほしい。今日の緊張感、希望にあふれた気持ちを忘れず、大きく成長してほしい。(61人)

いつも考える
癖をつけよう
イビデン

青木武志社長



若くはつらつとした皆さんをイビデンで迎えることができ、大変うれしい。本日から企業人としての責任ある行動をしよう。また常に考える癖をつけてほしい。

仕事とは、作業+改善+自分の考えや知恵。また、何事にもチャレンジしてもらいたい。新しいことへのチャレンジが発展につながる。当社が次の100年も永続的に発展していくには、皆さん一人一人の成長が不可欠。会社と共に成長していきたい。(127人)

社会に役立つ
能力を伸ばせ
トカイ

小野木孝二社長



皆さんは、社会の役に立つ、お客さまに喜んでいただくために、

誰でももてる素晴らしい能力・素質を持っている。失敗を恐れず、情熱とフレッシュさを武器に、どんなことでも好奇心を持って進んでほしい。能力の限界を決めることなく食欲に成長を求め、社会人として、トカイグループの一員として役割を感じていただきたい。トカイグループがさらに働きがいのある会社になるよう、われわれと共に取り組むことを期待する。(202人)

五つの大切を
心にとどめて
KAIグループ

遠藤宏治社長



創業100周年の記念すべき年に、入社した

皆さんを心より歓迎する。「基本を大切に」「時間を大切に」「お金を大切に」「友人を大切に」「夢を大切に」の五つの大切を心にとどめ、素晴らしい社会人生活を送ってほしい。当社の常識にとらわれず自分の感覚を大切に、当たり前前にならぬことに疑問を呈し、独特な点を発見して積極的に提案してほしい。実行、体験をして、社会人としての成長を成し得てほしい。(18人)

顧客の目線で
戦略を練ろう
大垣共立銀行

土屋嶢頭取



OKBを取り巻く環境は極めて難しい。一つは低金利。銀行は厳しい経営状況にさらされている。もう一つは少子高齢化。人口が減れば社会は縮小していく。そして銀行業務に他業種、他業態からの参入が始まっている。OKBはグループを挙げ次の戦略を練り上げていかねばならない。OKBには多様な業種、業態で経験を積んだ人が集まっている。顧客目線で地域に對して何をしていくか。未来に向けた戦略を練ってほしい。(210人)

フレッシュな
考え方に期待
東濃信用金庫

市原好二理事長



三つの言葉を贈る。まず「他人と比較しない。成長を焦らない。できなくても諦めない」。社会人生活は長い。苦しい時を乗り越えた時に次のステップへ進める。次に「前向き、外向き思考を持つ」こと。後ろ向き、内向き志向は、人を縮ませてしまう。最後に「一人から学ぶ、読書から学ぶ、旅から学ぶ」こと。三つの学びから知恵を身に付けてほしい。フレッシュな皆さんの新しい考え方で、東濃信用金庫を盛り上げてほしい。(36人)

「輸送立国」の
使命感を胸に
西濃運輸

神谷正博社長



西濃運輸の掲げる使命は「輸送立国」。現在、方針として効率化を進めている。商品が届けばいいというのではなく、時間通りに届けなければいけない。今後より一層その精度を高め、時間短縮などに引き続き取り組んでいきたい。さらに西濃運輸は次の変化を進めていかなければならない。輸送だけでなく、多くの変化を起こし次のステップに移っていく。ご家族への感謝を忘れずに今後の社会人生活を送っていただきたい。(153人)

どんな時代も
人間力が大切
バロー

田代正美会長兼社長



現在、AI(人工知能)が仕事を変わるといった情報があふれている。知識や技術は時代によって変化するが、変わらず大切なものは人間力だ。ただ人間力は身に付けようとして付けられるものではない。教わる側の姿勢も問われる。入社して10年は未熟かもしれないが、仕事に真剣に向き合っていれば人から教わることはできる。この10年が次の10年につながる。人間力とは何かを常に考え、仕事に取り組んでほしい。(492人)

「時理気」ある
自分を磨こう
太平洋工業

小川信也社長



太平洋工業は、工業は、グループが全社員が共有する価値観として「PACIFIC VALUES」を策定。「夢と挑戦」「信頼と感謝」を掲げる。ぜひ若い皆さんも夢を持ち果敢に挑戦してほしい。周囲の方々やお客さまとの和を大切に。信頼を得て、感謝の心を抱き続けてほしい。太平洋の海原が皆さんを待っている。会社人生の中で自分を磨き、時(時間)理(理論)気(やる気)の「時理気(自力)」がある人財になつてほしい。(54人)

好奇心を持ち
自由に意見を
レシップHD

杉本眞社長



4月に社員のあるべき姿を見直し「チャレンジ」「顧客起点」「コミュニケーション」「環境変化」に加え、「オーナーシップ」を加えたグループ理念の「快適な日常の実現」に向け、これまで以上に好奇心を持って学び、自ら提案し、自らの役割を發揮できるように、多様性を認め、自由闊達(かつたつ)に意見を言える会社になりたい。社員のあるべき姿を理解し、一日も早くそれぞれの役割を果たしてこれくるようになることを期待したい。(14人)